

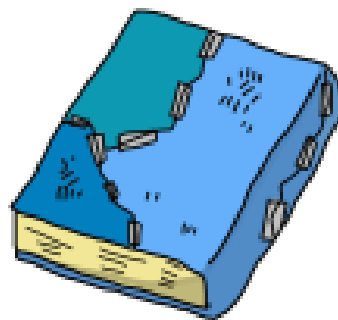
北海道旭川永嶺高等学校 第2年次通信 銀嶺の風	2020年8月21日	大雪山 Asahidake NO14. 文責 鈴木
--	---	---

夏休みも終わり、また学校が始まりました。皆さん、生活リズムは整いましたか。今年は新型コロナウイルスの影響で短い夏休みでしたが、充実した日々を送ることができたでしょうか。

～継続は力なり～

以前、前任校でも一緒だった横野先生と雑談をしているときに、子育ての話になりました。当時、私の上の子供は3歳ぐらい、下の子供は妊娠したばかりでお腹の中にいる、といった状況だったと思います。横野先生が「これだけは、と思って子育てしてきたけれど・・・。」とおっしゃったので、（それがなんなのかは忘れましたが）私も一つ子育てでこれだけは続けてこれた、と言えるようなことをしよう、と心に決めました。そして、それは何かというと、夜寝る前の本の読み聞かせです。子供が小さいうちはまだ良かった、絵本の読み聞かせは3分くらいですみます。そのうち小学校に入ると、読み聞かせる本が絵本から児童文学にかわりました。「西遊記」などを少しずつ読み聞かせるのは大変でしたが、私も一から児童文学を読むのは勉強になります。下の子はまだ小学生なのでしばらく続けていきたいと思っています。

新型コロナウイルスの影響で先が見えない状況の中、皆さんは何かコツコツと続けていることはありますか？ともすれば多くの情報の中ででなんとなくいろんな事をごまかしてしまえるような時代だからこそ、地道に「続ける」という行為が大事になってきます。それはできたら、皆の進路につながることであってほしいと思うけれども、とりあえず、自分でこれだと思ふこと、後から振り返って自分はがんばったと思えるようなことをコツコツと続けてほしいと思います。



——また、本の話——

たまに「先生、おすすめの本は何ですか。」と聞かれるので、一冊ご紹介します。外山滋比古の「思考の整理学」(ちくま書房)という本です。この本はとても有名な本でベストセラーとなりました。

「東大・京大で最も読まれた本」という帯もついています。筆者の外山滋比古の文章は入試で取り上げられる率も高く、大学入試対策としてもぜひ読んで欲しい評論家です。小説や物語ではないので、読んでおもしろかった、といった類いの本ではないかもしれませんが。でも、私はこの本を読み終えた後、本当に頭の中が整理されたような気がしました。「頭というものを『知識をため込む倉庫』にするのではなく『創造のための工場』にするにはどうすればよいのか。」ぜひ、皆さんのような若いときに読んでほしい本です。

～背表紙の文章より～

アイデアが軽やかに離陸し、思考がのびのびと大空を駆けるには？考えることの楽しさを満喫させてくれる本。



○.オープンキャンパスに行こう！

今年は新型コロナウイルスの影響で9月に大学説明会(オープンキャンパス)が実施されるところが多いようです。どのようなカリキュラムが組まれているか、授業が行われているか、また、教授陣や先輩の雰囲気はどういったものか、実際に足を運ぶことによって明らかになることが多いです。行けると判断したら行ってみましょう。WEBによるオープンキャンパスはぜひ見てください。9月中に進路先についてのレポートを提出してもらう予定です。

○ 今週の週末課題

国語 新成 現代文(尚文出版) 6「公務用ボールペン」+要約ノート

英語 スクランブルP278～P289のプリント

～8月の予定～

8月22日(土) 全統高2模試

8月23日(日) 英語検定

8月29日(土) 高2看護模試



